



通所介護ライブラリー  
金子さん

## ご利用者様ごとに合わせた対応ができるように！

① デイサービスで入浴、体操、レクリエーション、トイレ介助、送迎添乗などを行っています。パートとして週5回、9時～17時で働いています。  
自社に入社したのは2017年5月です。それまでは別の通所介護で働いていましたが、自転車で通える範囲で職場を探していたため自社に転職しました。  
この仕事をするきっかけは、義理の母が介護サービスを利用しており、自分でもやってみようと思ったため、子供が大きくなって時間が空いたことも重なってヘルパー2級を取得しました。介護福祉士になるために、会社で配布された資料をもとに勉強をし、参考書なども購入して自己学習をしました。夜の時間を使って勉強をするようにしていました。

② ご利用者様から、「いいお風呂だったわ、ありがとう」など、声をかけていただいた時にこの仕事をやってよかった、とやりがいを感じます。感謝を求めて仕事をしているわけではありませんが、そういう声をかけていただくことこの仕事をやってよかったと感じます。

③ ご利用者様は皆さん考え方が違うので、個々の対応をするときは大変だなと思います。型にはまったケアというものではなく、個別ケアを考える必要があり、介護福祉士の勉強をしていくなかでということも学びました。

④ 安心して安全に過ごせるように接することです。事故があるとその人の生活を損なってしまうため、細心の注意を払ってケアを提供しています。ご利用者様が持っている力を発揮できるよう、わずかでも出来るように介助をしていきます。立てなかった人がデイサービスで訓練を行うことで徐々に立てるようになったとき、お役に立てていることを実感しました。

⑤ 身体介助、生活援助など知識がまだまだ足りないことが多いので、ご利用者様ごとに合った対応ができる介護福祉士になりたいです。

## 円滑なコミュニケーションをとる介護を提供！

① 訪問介護員、デイサービスの職員をやっています。訪問では身体介助から生活援助まで幅広くやっています。看護学校卒業後介護系の仕事もしたいと思い、在学中に取得したヘルパーの資格で30代後半から病院で介護の仕事を始めました。その後、特別養護老人ホームに転職し、3年弱働いた後に今の会社に転職しました。今の会社は介護福祉士の受験講座を開催しており、仕事をしながら勉強ができるというところに魅力を感じました。

② ご利用者様がいつもその人らしい豊かな生活を送っていて、介助を提供した際に笑顔で「ありがとう」と言ってくれる時が、介護に携わっていてよかったとやりがいを感じる時です。ご利用者様宅から退出時、「いつもありがとう、また来てね！」と声をかけていただき、すごくうれしい気持ちになったことがあります。

③ 身体介助が多いので、もし事故が起きたら怖いと感じます。ご利用者様の命をお預かりする仕事なのでいつも不安はあります。会社では、体調急変時の対応や救急車の呼び方などを定期研修で学ぶことができますし、同僚とも介護技術やコミュニケーションの方法について相談ができるので、不安は少しずつ減ってきています。

④ ご利用者様がご利用者らしく生きるための手助けとして、その方に寄り添った介護ができるように常に心掛けながら仕事しています。特にご利用者様のお話を聴く、傾聴することをご利用者様と接するうえで大切にしています。

⑤ ケアマネジャーの資格や、介護に従事する資格をとりたいです。ご利用者様とより円滑なコミュニケーションをとれるような介護を提供できたらと思います。



小規模多機能型居宅介護  
燦々ほーむ あらかわ  
島田さん

# 第30回 介護福祉士国家試験

## 介護スタッフ座談会



有限会社 ケア・プランニング



## インタビュー項目

- ① 現在介護現場でどのような内容の仕事をしていますか？
- ② やりがいを感じる時は、どんな時ですか？
- ③ 大変だなと思うところはありますか？
- ④ 大切にしていること・心がけていることは？
- ⑤ 今後の目標やどんな介護福祉士になりたいかを教えてください

## 介護分野で生涯現役で活躍し続けたい！



訪問介護ホットステーション SUN  
塚野さん

- ① 訪問介護及びそれに付随した事務関係の仕事を行っています。サラリーマンで59歳まで勤め、その後年齢に関係なくできる仕事をやってみたくて、介護の仕事をやりました。2017年の12月まで別の事業所で働いており、その後、家が近い場所で働きたいということで今の会社を選びました。介護の仕事はいろいろとあり、グループホームやデイサービスのボランティアにも参加しましたが、ご利用様が一番生き生きしている場所というのは訪問介護だなと感じ、ご利用者の生活を一番近くでお手伝いできる訪問介護を希望しました。小規模多機能型居宅介護にも興味はあり、いずれ働いてみたいです。
- ② ご利用者様とのコミュニケーションが円滑に出来るようになった時。介護を始めた当初、被害妄想があるご利用者がいて、その方の買い物の際コミュニケーション不足でトラブルが起きたことがあり、その時にコミュニケーションの大切さをとても感じました。その後はその失敗経験を生かして接するようにし、その方とも良好な関係が築けました。

③ 体重のある利用者様の移動・移乗は、年も考えると大変だと思います。上司にそれを相談し、配慮してもらいながら仕事をさせてもらっています。ご利用者様からご利用者様への移動距離の長さ。自社は荒川区だけではなく、台東区や北区にも仕事があるので、移動に慣れるまで結構大変でした。会社には電動自転車があるので、長距離移動があるときは借りています。

④ 自己開示、自己覚知によるご利用者様とのコミュニケーションの距離を縮小すること。対人援助職の技術はもちろん大事ですが、今携わっている訪問介護は1対1の仕事なので、常に相手のことを考えながら対応しています。

⑤ 今後は仕事をしながら通信制の大学で勉強をし、社会福祉士の取得を目指したいです。同時にケアマネジャーも受けて、生涯現役で、介護分野で活躍し続けていきます。

## 子育てと仕事を両立しながら日々勉強！



訪問介護ホットステーション SUN  
五十嵐さん

① 訪問介護でのデイ送り・掃除・買い物代行・調理を主にさせていただいています。身体介助よりも家事全般の生活援助です。トライアル雇用で入社し、6ヶ月くらい燦々ほむむで働きながら、初任者研修の勉強をしていました。初任者研修の合格後パートとして訪問介護部署へ入りました。介護福祉士の勉強は、パートで働きながら自社で開催した勉強会に参加し、試験に向けて勉強をしました。仕事と勉強の両立はとても大変でしたが、家庭の援助もあり、無事に合格できました。

② 訪問先の利用者様が、その人らしい生活を送ることの支えの中で「あなたが来てくれるから、～をやる様にするわ」など、前向きな気持ちになって下さることです。また楽しみに待っているわ、と気持ちのある言葉をかけていただけた時には、この仕事をやってよかった、頑張ろうと感じます。

③ 身体介助を行う時、ご利用者様に万が一にでも転倒など怪我をさせないために、十分に注意が必要なこと。大変だと思うところは、良い意味でも全てだと思っています。訪問業務なので、時間には間違いなくご利用者様宅に向かうことも大変だと感じます。訪問介護は、その人のエリアに入っていくので、とても気を使います。利用者様のご家族様とうまくいかず、泣いてしまうこともありました。

④ 「心のお世話」。具体的には、調理なら一緒に作る、話を聞く時や話しかける時は一緒に楽しむことです。訪問時間内で、ご利用者様がどんなことをどこまで望んでおられるかを早めに把握し、的確に提供することです。

⑤ 資格を取得したので、ご利用者様の気持ちを安心させられる、介護的的確なアドバイスがスムーズにできるようにしたいと思っています。子供がまだ小さいので、子育てをしながら今後も日々勉強を積み重ねて仕事をしていきたいです。

## 目標は事業所の中核社員に成長して仕事をする！



訪問介護ホットステーション SUN  
森さん

① 訪問介護職員として、ご利用者様宅に訪問して支援を中心として仕事をしています。他には常勤の仕事として社内の研修講師を担当したり、職員間の連携が図れるように電話対応、職員への連絡業務も担っています。ヘルパーの資格は学生の頃に取得しましたが、別の仕事をしていました。将来のことや自分がやりたいことを考えた時、やはり介護の仕事に携わりたいと思い、3年前に今の会社に入社し、実務をこなしながら介護福祉士の勉強をしてきました。社内では、外部から講師を招き勉強会を開催していたので、それにも参加していました。

② ご利用者様から感謝された時が一番やりがいを感じます。例えば、サービス提供開始時には、一人で掃除ができなかったご利用者様に対し、一緒に掃除を行いながらいずれ一人で掃除ができるようになるようヘルパーとして働きかけを行い、その結果、半年で掃除がほぼ一人でできるようになったご利用者様がいました。その際、「あなたと一緒にやったからできないことができるようになったわ。ありがとう。」とっていただき、そのご利用者様の人生の役に立てた瞬間がやりがいをととても感じました。

③ 私は一般の介護職員と比べて身体が小柄なので、自分と体格差のあるご利用者様の身体介助が大変だと感じます。そういう時には会社内で、職員同士で技術的な勉強会を行い、技術の研鑽をしました。

④ 私は小さいころから祖父によく見てもらうおじいちゃん子でした。将来を考えるうちに人の役に立つ仕事をしたい、そしていつかおじいちゃんに恩返しができるばいいな、と思い介護の仕事を始めました。様々な経験をしてきた中で、私は常にご利用者様の立場や感情を尊重した支援ができるようになりたい、心がけたいという思いを大切にしています。

⑤ 今後も介護の技術を磨いていきたいです。また、介護福祉士としてよりご利用者様の状態を観察し、どう支援していくかも考えて行動できるようになりたいです。私はコミュニケーションが苦手なので、そこも今後仕事をしていく中で磨いていき、いずれは事業所の中核社員としてサービス提供責任者やその上の立場で仕事ができるのが目標です。